



在学生と教員との座談会
2014年6月9日開催

【オープンキャンパス・見学会編】

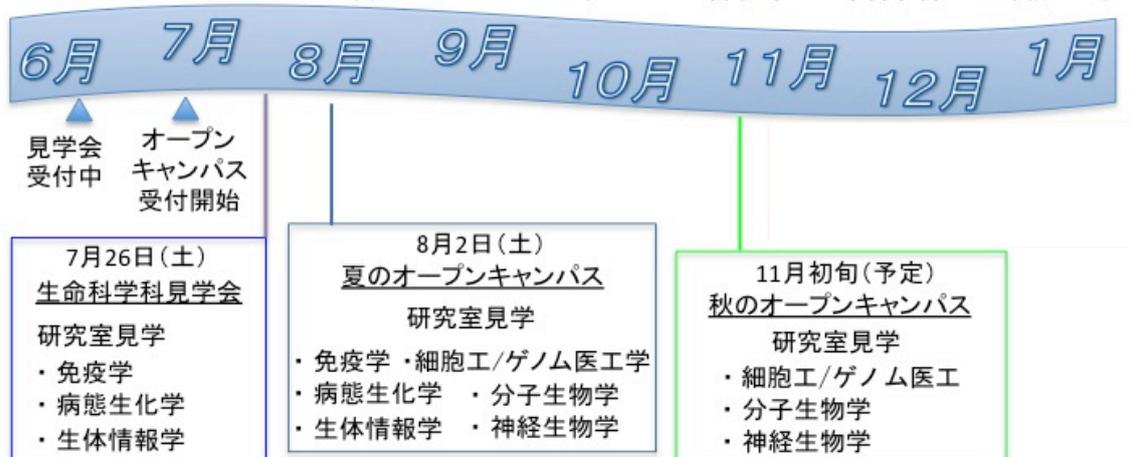
新しい学年がスタートしたと思ったら、あっという間に夏の暑さがやってきました。高校生や受験生の皆さんにとって、自分たちの進路を考えるための大切な時間が始まります。鳥取大学でも、皆さんの進路決定の参考にしていただきたく、オープンキャンパスと見学会を開催します。

生命科学科では皆さんをお迎えするにあたり、2年生から博士前期課程2年までの学生さん合計12人に集まっていただき、自分たちの体験談や、受験生の皆さんへのアドバイスをざっくばらんに語ってもらいました。この冊子は、そのときの話をもとに入試担当委員が関連する情報を加えながらまとめたものです。

鳥取大学のオープンキャンパスや見学会に参加される方、生命科学科に興味をもつ方に読んでいただければ幸いです。

● 2014年 見学会・オープンキャンパス予定

* 確定したスケジュール、イベントの詳細等は生命科学科HPで確認ください



- 生命科学科では、開催時期とスタイルを変えながら、3つのイベントを企画しています（参加の際は事前のお申し込みが必要です）。

・各イベントの詳細は生命科学科 HP にあります。ここではそれぞれの特徴を簡単に書き出しました。

*希望する研究室が見学の対象となっているかをお確かめください。

【生命科学科見学会】

生命科学科だけの見学会です。午後から集ってもらい、生命科学科での学びや学生生活に関するレクチャーの後、研究室見学ツアーと懇談会を行います。

【夏のオープンキャンパス】

医学部3学科（医学科、生命科学科、保健学科）の合同イベントです。午前中は生命科学科を含む医学部全体の説明会に参加してもらいます。生命科学科棟に移動して在学生や教員とともに昼食（大学生協の特製お弁当：350円）の後、研究室見学ツアーと懇談会です。生命科学科のすべての研究室が見学の対象となります。

*今年は米子市の「がいな祭り」の期間中に行われます（駅前には交通規制あり）。

【秋のオープンキャンパス】

医学部3学科の合同イベントですが、生命科学科の見学、懇談会は午後スタートの予定です。生命科学科の研究室見学ツアーと懇談会には夏の見学会とは別の3研究室が参加します。

この頃にはよいよ受験シーズンも近くなり、やや緊張感も増してきます。例年、参加者はやや少なめですが、そのぶん研究室見学の内容が濃くなります（夏、秋両方に参加した学生さんの声です。この学生さんは今、その時説明してくれた先生の研究室に所属しています）。

*鳥取大学医学部の学園祭「にしき祭」の期間中に行われます。

● 夢ナビライブ・マイナビ進学フェスタ

オープンキャンパスや見学会に加えて、今年度は全国5カ所で開催される夢ナビライブとマイナビ進学フェスタで生命科学科教員による講義を行います。
(詳細とお申し込みは、夢ナビ・マイナビ HP よりお願いします)。

夢ナビライブ・マイナビに参加します！

高校生に向けた大学研究&学問発見のための合同進学相談会、
[夢ナビライブ 2014](#) と [マイナビ進学フェスタ](#)、今年は以下のスケジュールで講師を派遣します。生命科学に興味のある方は、ぜひお越し下さい。

夢ナビライブ 2014

マイナビ進学フェスタ

6.21(土) インテックス大阪 終了です。 ご参加ありがとうございました。	7.12(土) 東京ビッグサイト	7.22(火) ポートメッセ なごや	10.18(土) マリンメッセ 福岡	7.15(火) インテックス大阪
---	---------------------	--------------------------	--------------------------	---------------------

参加の申し込みは、

[夢ナビライブ 2014](#) および、[マイナビ進学フェスタ](#) のホームページよりお願いします。

上記のスケジュールは変更の可能性があります。申し込みの際には必ず最新の予定をそれぞれのホームページ等で確認してください。

● 生命科学科のオープンキャンパスに参加した感想は？

今回の座談会に参加してくれた12人の学生さんのうち、鳥取大学のオープンキャンパスに参加したのは9人、他大学のオープンキャンパスに参加したことがあったのも9人でした。つぎのページからは、オープンキャンパスに参加した経験談や、これから参加する皆さんへのアドバイスをQ&A方式でまとめていきます。

Q1. 自身が鳥取大学のオープンキャンパスに参加した感想を教えてください。

A1-1. 先輩や先生方と2対1 or 1対1でじっくりお話ができて聞きたいことが聞けました。率直なご意見を頂けて、とても好印象でした。

A1-2. 大きな顕微鏡を見ただけでもすごいと思った。

A1-3. 先輩がパワーポイントを使って生命科学科の説明をしてくださいました。すごく分かりやすく、「ああ、ここに入学したら自分もこんな風になれるのかな」と期待が膨らみました。

A1-4. 大学でどんな生活をしているのかななどの話を直接学生から聞いたのが参考になった。

A1-5. 普段の高校生活では絶対に見ることのできないような実験材料や器具また大学の先生達の研究内容を知れてよい刺激になり受験勉強をするモチベーションが上がり入学したいと強く思うようになった。

A1-6. 見学できる教室が限られていたのが残念でした。

A1-7. 鳥大のオープンキャンパスでは細かいところ（研究室や手技体験）を見ることができてよかった。他大では、人数が多く、そこまでの経験はできなかった。少人数のいいところかな。

A1-8. 見学した研究室の教員と学生の関係が良かった。自分の将来のイメージが持てた。

Q2. 鳥取大学の受験を決める際に、オープンキャンパスや見学会の内容を参考にしましたか？

A2-1. 私は学科の特徴が自分にぴったりだったので、オープンキャンパスの内容が受験するかどうかには影響しなかったけど、参加したことで生命科学科へのあこがれはより増しました。

A2-2. はい。先生と先輩の距離が近いこと、自分のやりたい研究をやらせてもらえそうな環境だと感じる事ができたからです。

A2-3. 鳥大一本に決めるのに参考にしました。

Q3. 受験生は、どんな点を見たい、どのようなことを知りたいと思いますか？
(あえて自分が受験生だった頃の気持ちに戻って考えてもらいました)

A3-1. 良い話だけではなく、苦勞する部分も聞きたいのではないか。自分が参加した懇談会で、大学の大変な部分も話してくれて信頼できた。

A3-2. 4年生の卒業研究でどのようなことをやっているのか。1からのスタートで研究をやっていけるのか。

A3-3. 米子や湖山（鳥取キャンパス）でのバイトや生活はどんな感じか？

A3-4. 高校生活と大学生活との違い。

A3-5. そもそも研究というものが漠然としていて、よくわからないので、学生になった時の具体的な1日の流れを知りたいと思う。

A3-5. 良いところはホームページやパンフレットで分かるので、入学してみても実際違ったこと、シラバスだけでは分からない講義内容のこと、テストのこと、あるいはちょっと苦勞することも知りたいと思う。それで志望がゆらぐなら入ってから辛いと思うので。

学生さん達の要望をまとめてみると、①高校生の自分には、難しい研究のことは分からないかもしれない。でもやっぱり自分で興味のある研究室を見学したい！②研究以外にも、毎日の生活や、講義のことも知りたい。③建前ではなく本音の部分の情報もしっかり伝えてほしい！の3点が重要なようです。

そこで、①研究室見学は対象となる研究室から選ぶことができる方式に変更する予定です。②については、学生さんとの懇談会のときに、「研究」や「学生生活」など、聞きたい質問ごとにグループを分けるなどの工夫を考えています。③については、ありのままの情報を、これまでも、もちろんこれからもしっかりとお伝えしていきますので、どんなことでも遠慮なく質問してください。

Q4.オープンキャンパスや見学会を実りあるものにするには、受験生はどんなことを準備してきたら良いですか？

A4-1. 興味を持ってそうな教室の分野を探してみる（医学系の分野でどんなことにワクワクするか）。

A4-2. 先生や先輩に聞きたいことをピックアップしてくる。

A4-3. 興味のある分野について余裕があれば見つけておく、調べておく。

A4-4. メモ用紙などを持ってくる。

A4-5. 質問したいことはまとめてくる。高校との違いを見つける（先生との距離や生活スタイルなど）。

準備と聞いて、身構えたり、緊張したりする必要は全くありません。まずは先輩達のアドバイスのように、生命科学科のホームページをご覧になり、自分の興味のある研究室を探してみてください。その時わいた疑問はそのまま質問になります。メモとペンの準備もとても重要です。せっかくの情報やその感想を忘れないために。

「A4-2. 高校生の人は準備などは特にせず、聞きたいことを全てぶつける気で来たらいいと思います。」というアドバイスも有りました。でも「質問はどんどんしていく」点は共通です。

たとえ小さなことでも、準備したことはそのまま充実度につながります。

● ぜひ、ご参加ください！

この冊子は皆さんの参考になりましたか？オープンキャンパスや見学会は、高校生や受験生が実際の大学とふれあい、自分の将来進むべき道を見いだす上でまたとないチャンスです。ここまで読んでくれた方はお気づきだと思いますが、生命科学科では現役の学生さんや、参加してくれた皆さんの声をもとに見学会やオープンキャンパスの内容を改善して、よりの確なコミュニケーションができるように努力をしています。

生命科学科の学生・スタッフ一同、生命科学科の魅力を伝えるために、全力で準備を進めています。皆さんも聞きたいことをどんどん準備して、充実した一日にしましょう。鳥取大学の生命科学科に進路をとるのか否か？大切なのはお互いのマッチングではないでしょうか。

先輩からのメッセージ

鳥大に来る意味は研究室を見てみるとおのずと見つかると思います。

積極的に調べてみると、モチベーションに繋がると思いますよ！！

生命科を受験しようと考えている人は、ぜひオープンキャンパスに参加してほしいです。

受験雑誌やインターネットでは知れない色々な事が知れるのでモチベーションを上げるためにもぜひ来ていただきたいです。

私は入りたくて仕方なくて、合格できた幸せ者なので、興味のある分野の勉強ができて毎日充実しています。

医学系で生命科学に興味のある人にはすごくオススメです！

「研究するとは」ということをイメージだけでも持つとくいいかもです。

鳥大に来れば何かしら自分に出会いが舞い降りてくるので、是非来てください。

医学部の講義も生物系の講義も受講できることと先生・先輩の距離が近のが生命科学科の魅力です。

ぜひ見学会やオープンキャンパスに来て実際に研究室を見たり先生や先輩方とふれあって魅力を感じてください！

研究に興味があったり、生命科学に興味がある人ならこの学科を選んで間違いないと思います。

鳥取県は、勉学にはげむのに良い土地だと思います。

生命科学科は、関東・九州から来ている子も多いです。離れた土地で、みんな頑張っているの、知らない土地で不安に思っている、鳥取大学に来てみてください！！

● 余録 【オープンキャンパスよりも普段の姿？】

最近、オープンキャンパスなどのイベントに参加するよりも普段の(日常の)大学を見る方が良いというアドバイスを見かけることが有ります。そのような意見の中には確かにもっともなものもあります。さらには「突撃訪問がベスト」といった見方も有るかもしれません。しかし、せっかく目的の大学までいったのに会いたいと思っていた先生が不在だったりしたら、お互いにとって残念なことですよ。

もちろん私たちは、毎日の姿にも絶対の自信が有ります。しかしオープンキャンパスや見学会では、生命科学の面白さを、普段なかなかお見せできない高いレベルで皆さんに伝えるために十分な準備をしています。ぜひこの機会を活かしてください。